

One Purpose

同志社大学通信
FOR BETTER COMMUNICATION

141

2004
December
DOSHISHA UNIVERSITY



特集 文学部の改組・再編と社会学部、
文化情報学部の誕生

同志社人訪問 ミュージシャン 笹野みちるさんに聞く

新島襄の旅した風景 北九州編

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。さいななことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

COVER STORY

表紙の情景

[グライダー格納庫]



大空を飛んでみたい。飛行機が好き。機械いじりが好き。パイロットになりたい。他人と違う、何か変わったことがしたい。さまざまな動機で入部した部員たちが、FRP(強化プラスチック)製のパーツを格納庫から運び出す。左右2枚の主翼を胴体の両側から差し込むと、全幅15メートルの翼を持つ美しい単座機(1人乗りグライダー)が完成した。機体の愛称は「アイオン」。未来永劫に時を刻む神の名だ。

2006年に創部70年を迎える体育会航空部。岐阜県木曾川滑空場や福井県福井飛行場などでフライト訓練を行う。京田辺キャンパスの格納庫では、ミーティングや機体のメンテナンスが行われている。ここ数年、戦績は低迷していたが、昨年10月に開かれた第28回同立戦の2部個人で優勝、今年10月2~8日に木曾川滑空場で開催された第7回全日本学生グライダー-新人競技大会個人の部で3位に入賞し、復活の兆しを見せた。現在、部員は1、2年次生が中心だ。更なる上昇気流をつかむため、訓練やメンテナンスに余念がない。

大学の活動

特集



「文学部の改組・再編と社会学部、文化情報学部の誕生」

2

LECTURE

文化情報学部開設記念シンポジウム「文・理の壁を壊せ」
基調講演『人間らしさ』の謎解く科学

7

同志社の研究は今

ヒューマンセキュリティ研究センター

9

来年度就職をめざす皆さんへ

11

CAMPUS NEWS

学生女子ゴルフの頂点に立つ / 雑誌『D-active!』創刊 / 同志社グリークラブ創立100周年記念行事 / 第4回京田辺~今出川踏破イベント / スポーツ政策シンポジウム / 法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム採択 / 現代的教育ニーズ取組支援プログラム採択 / 宇宙飛行士の毛利衛さんを招いて / 第15回ドイツ語スピーチコンテスト / NPO同志社大学産官学連携支援ネットワーク設立 / 他

16

在学生・教員の活躍

OP COMMENTARY

濱 真一郎 法学部助教授 ハリネズミと狐

8

新島裏の旅した風景・北九州編

熊本バンド、柱状節理、菅公を追う旅

13

MY PURPOSE

日本フェンシング界最年少でアテネオリンピック出場! ~世界の頂点をめざして~
・太田雄貴さん(商学部商学科1年次生)

27

卒業生の活躍

INTERVIEW ~同志社人訪問~

ミュージシャン 笹野みちるさんに聞く

20

MY JOB, MY LIFE ~シリ-ズ 私と「仕事」~

・西 剛弘さん(1989年神学部卒業)

・金谷 扇さん(1998年総合政策科学研究科博士課程(前期課程)修了)

23

ANNOUNCEMENT

25

「文学部の改組・再編と社会学部、文化情報学部誕生」



司会/文学部文化学科
国文学専攻教授

真銅 正宏



文学部文化学科心理学
専攻助教授

余語 真夫



文学部社会学科
社会福祉学専攻教授

小山 隆



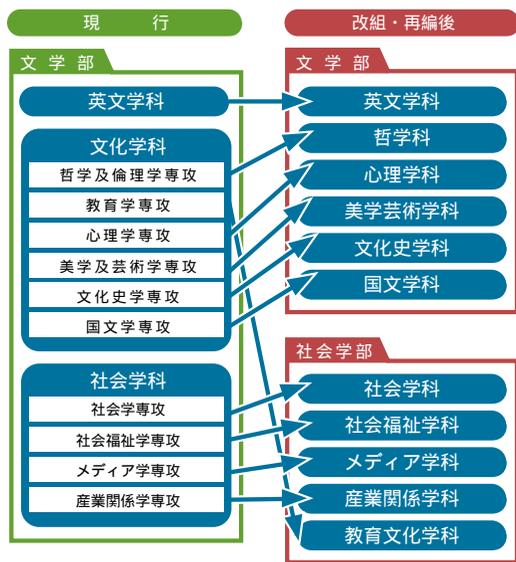
工学部知識工学科教授
(文化情報学部設置準備委員)

川崎 廣吉

今、同志社大学は大きな変革期を迎えている。2005年4月、文化情報学部が開設される。そして文学部が6学科に改組・再編され、5学科を有する社会学部が誕生する。どのような教育研究体制やカリキュラムが用意されるのか。同志社大学教育改革の将来展望について、4人の教員が語り合った。

真銅 2005年4月、文学部が改組・再編され、社会学部が誕生し、新たに文化情報学部が設置されます。そこで、それぞれのよきな試みが予定されているのかお聞かせください。

余語 文学部はこれまで英文学科、文化学科、社会学科の3学科で構成されてきました。今回の改組・再編に伴い、社会学科4専攻と文化学科教育学専攻で社会学部を組織します。そして、英文学科と文化学科5専攻がそれぞれ学科となります(図1参照)。文学部では教育理念や研究教育活動が抜本的に変わることはありません。これまで培ってきた経験や蓄積を基に、少人数教育による学生と教員の相互作用を通して専門的な研究、学習をさらに発展させます。ま



(図1)文学部の改組・再編

た、従来から行ってきたくさび形の学習研究を継承し、専門分野を深く掘り下げる学習を追求していきたいと考えています。

真銅 社会学部はいかがですか。

小山 社会学部が文学部から独立する理由の一つには、文学部にあらゆる学問が集ま

り、動きが取りにくくなったという点が挙げられます。今回、文学部社会学科各専攻から社会学部各学科という独立した単位になり、教育文化学科が加わることで専門性が高まり、求心力も備わります。新しいカリキュラムとしては、「学部共通必修科目」を設けます。これは、「現代社会論」や「社会問題論」など、社会学部という名前に集まる学生にこれだけは学んでほしいという、ベースとなる科目です。「ファーストイヤーセミナー」と併せ、社会学部の初年次教育を形成します。一方、各専攻が5学科に再編されたことで、1

年次から少しずつ専門科目を導入し、専門性を高めていくことが可能になります。真銅「ここまでは改組・再編に伴ったものでしたが、新設される文化情報学部にはどのような特長がありますか。」

川崎 文学部とここが違うのかという質問をよく受けます。文化情報学部は文化を対象にしたデータサイエンスすなわちITを



(図2)文化情報学部科目群

駆使した解析手法を学ぶ学部です(図2参照)。対象となる文化をコンピュータに取り込んでデータ化し、どのような解析を行うかが、その解析技術を身につける学部であることが、文学部や社会学部との違いです。もちろん、その技術を活用する領域は文学部や社会学部と重なります。

真銅 文化情報学部は京田辺校地で4年間学びますが、これは文科系学部としては初めてですね。

川崎 その点を強みにしたカリキュラムとして「ロキアム」という科目を導入します。これは、1、3、4年次生が同じグループに所属して発表や討論を行うものです。4年次生

には卒業研究発表の場となりますが、1、3年次生には先輩の研究を知ると同時に自分たちが何を学ぶべきかを把握するという科目です。

「主専攻・副専攻制度」が柱に

真銅 では次に、文学部と社会学部が独立することで生まれるそれぞれの強みについてお聞かせください。両学部とも「主専攻・副専攻制度」がその柱となるようですね(図3参照)。

文学部

副専攻	英文学	哲学	心理学	美学芸術学	文化史学	国文学
必修科目	Sophomore-Seminar	哲学概論(1)2 倫理学概論(1)2	心理学概論(1)2 心理学統計法基礎 心理学実験演習 臨床心理学実習	美学概論 芸術学概論 芸術史概論	文化史学概論 日本文化史概説 西洋文化史概説	演習 日本文学概論 日本語学概論
選択科目	28単位以上	32単位以上	20単位以上	24単位以上	22単位以上	16単位以上

社会学部

副専攻	社会学	社会福祉学	メディア学	産業関係学	教育文化学
必修科目	現代社会論 社会学概論 エリアスタディ概論 社会調査入門 10単位	社会問題論 社会福祉原論 福祉と人権 8単位		現代社会と労働 産業関係基礎論 産業関係論(1) 産業関係論(2) 8単位	教育文化論 文化と人間形成 教育学基礎演習 6単位
選択科目	20単位以上	22単位以上	30単位以上	22単位以上	24単位以上
横断的副専攻	ジェンダー	社会心理	国際社会		
必修科目	ジェンダーの社会学 ジェンダーと社会福祉 ジェンダーとメディア 労務管理論(2) ジェンダーと教育 12単位	社会心理学 社会統計学 精神保健学 メディア心理学 組織行動学(1) 異文化間心理教育論 16単位	社会人類学 社会問題論 メディア史 産業関係論(1) 産業関係論(2) 文化交流と教育 14単位		
選択科目	18単位以上	14単位以上	16単位以上		

(図3)文学部と社会学部の副専攻科目(概要)

(注)文学部、社会学部ともに、カリキュラム改正などの事情により副専攻として指定される科目や単位数が変わる場合があります。また、選択科目に指定される具体的な科目名や履修条件など、詳細については2005年度版両学部履修要項に掲載の予定です。

余語 主専攻では自分の専攻領域を1つ決めるわけですが、文学部各学科で学ぶ事柄は、実は関連しあっていて、表層的なレベルから深いレベルまで互いに結びついているという性質があると思います。そこで副専攻では、他学科の力となる考え方や方法論を履修することによって、主専攻と関連づけながら学びます。人間の精神活動や、精神活動の産物である絵画や文学作品、芸術を研究の対象にする時、例えば哲学なら哲学の方法論というものがありますが、何か1つの方法論をマスターするだけでなく、他のアプ

特集 / 座談会 「文学部の改組・再編と社会学部、文化情報学部誕生」

口チの仕方を学べば今までわからなかったことがわかるようになるからです。副専攻では主専攻に劣らない本格的な学習研究を行える仕組みにします。例えば、心理学が提供する副専攻カリキュラムでは、単に講義を聴くだけでなく、主専攻の学生と同じように実験や実習に取り組んでもらいます。

真鍋 例えば主専攻は心理学、副専攻は国文学という学生は、その2専攻で学んだと認められて卒業するわけですね。

余語 はい、いろいろな学問を勉強しましたというだけでなく、主専攻、副専攻の両方を体系的に学んだという実績をもっと社会に出してもらいます。

真鍋 社会学部における主専攻・副専攻制度についてはいかがですか。

小山 本学は総合大学ですから、他学部履修が不可でない限り、他学部の授業も履修することができます。それにもかかわらず副専攻制度を導入するメリットは、学生が授業を自由につまみ食いするのではなく、体系的に学べることにあります。そして、横断的副専攻では5学科以外の3分野センター、社会心理、国際社会を設けます。学科という形で独立はしていないものの、今後重要になる学問分野を学べるようになります。

真鍋 学部として高い専門性を追求する一方、学部内では学科間の垣根を低くする試みが新たに行われるという点ですね。

小山 そうですね。また、将来は他学部履修が不可だった「ミヤ実習科目も副専攻として登録することを認めていきたいと考えています。将来的には、従来、他学部生が履修できなかった科目を履修可能にしたり、主専攻・

副専攻を修了した学生に何らかの修了書を授与する計画もあります。

真鍋 ここまでのお話で、改組・再編のポイントが明らかになりました。学生が自由に科目を選択できるようにする一方で、カリキュラムとしては明確に「トランス化されたものを提供する。両者が一体となった学びの仕組みが確立される」とまとめられるように思います。



「知の基礎体力」が身につく学部

真鍋 では、求められる学生像というものがあるのでしょうか。

川崎 文化情報学部では研究対象が「文化」なので、文学でも絵画でも、文化に何らかの

関心がある学生を求めています。「文化に何となく関心があるんだけど、どこへ行ったらいいかわからない」という学生でも大丈夫です。文化を解析することによって、感覚的に良いか悪いかではなく論理的に判定する能力を身につけてもらいます。そのために、文学の解析に興味があるならこの科目を、情報に関心があるならこの科目を履修モデルを学生に明示します。

余語 文学部では、それぞれの学問分野にこだわりのある学生に、その道をとことん追求してもらいたいと考えています。しかし自分には文学のセンスがない、文学とはほど遠い世界にいるという諸君にも遠慮せず入ってもらえることにより、研究の面白さに触れ、知識や技術を身につけていただきたい。文学青年だけが対象ではないのです。理科系志望の学生も歓迎です。文学部に来れば世界が変わり、自分が変わる。そんな可能性は大いにあります。

小山 文学部や社会学部は多学科の学部なので、学生には「社会学部」というより「社会学部のこの学科」と絞り込んで来て欲しいと思います。社会学部でいうと、他大学ではほとんどが1、2学科しかないのに対して、同志社大学には5学科もあります。これは文学部の伝統を受け継いだ、同志社大学社会学部ならではの強みです。だから、社会福祉学を学びたい「メディア学を学びたい」等という目的意識をはっきりと



持った学生に来てもらいたい。それでは例えば、社会福祉学、メディア学どちらにも興味があるという学生は拒絶するかということももちろんそうではなく、主専攻・副専攻制度や学部共通必修科目で知的好奇心を満たすことができます。

真銅 これからは学部、学科のカリキュラムを熟読して大学を選ぶ時代になりそうですね。

小山 学校説明会などでは、まず各学科のカリキュラムを見てピンとくる科目を探してください。次にシラバスを読めば、受験したい学科が見えてくるはずですよ。偏差値や憧れだけでなくこうした視点で大学を選んで欲しいのです。また、卒業論文のテーマを見ることで、その学部学科では何が学べ、学生が何に関心を寄せて学んでいるのかわかってくるはずですよ。

真銅 卒業論文は大事ですね。

余語 そうですね。文学部は伝統的にゼミと卒業論文を重視してきましたが、それが教育研究の核心だと考えるからです。今後この伝統を継承したいと考えています。

小山 社会学部が文学部から引き継ぐものの1つに、少人数教育があります。1年次から15人程度の小クラスを作る予定です。また、卒業論文も必修科目です。

川崎 文化情報学部では、卒業研究を1人の教員が指導するのではなく、文科系の教員と理科系の教員がペアになって指導する予

定です。文の手法と理の手法の指導を受けることで、文理の知識を併せもった学生が育つことを期待しています。この複数教員による指導は「ロキアム」や「プロジェクト」という科目でも採用します。

真銅 このように3つの人文系学部が並び立つことで、将来的な協力関係も生まれそうですね。

余語 文学部と文化情報学部は研究対象のうえで密接な関係を持っていますから、共同学習など学生同士や教員同士が交流する仕組みをつくることで、従来ではできなかったことが可能になるでしょう。



川崎 文化情報学部の研究では、社会の実相を解析するための社会調査など、社会的な手段を用いることもあり、いずれは社会学部との共同研究が必要になると思われれます。

真銅 こうした学部で学んだ卒業生像とはどのようなイメージですか。

川崎 ささまざまな文化や心の持ちようを解析し、感覚的にでなく論理的に判断できる能力を持つてもらいたいですね。これは、どのような職業につくとしても必要とされる能力のはずです。また、数学や情報の教育職員免許を取得することができ、文化解析のスキルを身につけた教員として、数学を教えながら文学にも造詣の深い、親しみやすい先生が生まれるのではないのでしょうか。

余語 文学部の卒業生の進路は民間企業、

官公庁、非営利団体と多岐に渡っており、この傾向はこれまでと変わらないでしょう。ただ、世界が今多様な問題に直面していることを考えるべく、日本の文化を正しく理解し、次世代あるいは世界に向けて発信する人材がますます求められると思います。その1つに思えるのが文学部で学んだ卒業生という点になると思います。

小山 受験生からよく受ける質問は、文学部 社会学部 文化情報学部は法学部や経済学部などと比べて一般企業への就職が不利になるのではないかといいもので、もう一つは文学などに関する専門性を生かした職業に就けるのかというものです。まず第1の問いに対する回答としては、学部による差はありません。最終的には個人の努力によります。第2の問いについては、確かに専門職に就ける保証はありませんが、同じ学問を志す者同士の情報網があり、それを活かすことができます。社会学部は学科によってカラーがまったく異なりますから、一般企業に強い学科、専門職に強い学科など特長がはつきりしています。いずれにしても、社会の急激な変化に対応する視点を持った卒業生が「同志社大学卒」として活躍することになるでしょう。

真銅 ここまでのお話をまとめると、3学部の改組・再編および誕生はリベラルアーツの再構築だと言えますね。また、具体性実用性のみに向かうのではなく、あらゆる状況に対応できる「知の基礎体力」を鍛えるために、文科系学部が果たす役割は非常に大きい。そこに今回の改組・再編の意義があると

新しい学びの拠点とは

真鍋 ところで文化情報学部には京田辺校地の夢告館(図4参照)、社会学部には新町校地の新臨光館という新しい拠点が誕生しますね。



(図4)京田辺キャンパス「夢告館」(2005年3月完成予定)

文化情報学部の学びの拠点となる夢告館。文化情報学部の事務室、教員個人研究室の他、少人数教室を中心に全学部共通の講義教室も備えている。

余語 京田辺校地には同志社ローム記念館も工学部もあります。文化情報学部がそういった環境を活用し、社会との接点を大切にしながら新しい文化や研究を発信する基地になる可能性は高いのではないのでしょうか。

川崎 同志社ローム記念館からはさまざまなプロジェクトが発信されています。文化情報学部としてもプロジェクトや研究の内容をさらに発展させ、社会に発信するつもりです。

真鍋 京田辺校地には情報系の建物や教育研究設備の集積が進みますね。

川崎 そうですね。文化情報学部としてはその環境を活かして同志社大学情報ネットワークの象徴的な学部になっていきたいと考えています。余語 京田辺校地の文化情報学部、新町校地の社会学部、今出川校地の文学部を結び、人文学系・社会科学系を中心とした人の流れ、情報の流れが活性化すると思います。ひいてはそれが同志社大学の活性化にもつながると思います。

学生本位の教育改革へ

真鍋 さて、この改組・再編によって同志社大学では教育面の改革がどんどん進んでいるかと思うられます。研究者がものを教える教育から学生本位の教育へと変わっていくなかで、各学部はどのような役割を担うべきでしょうか。

余語 文学部ではすでに「プロジェクト科目」を導入しています。教員が与えた情報を学生に修得させるというやり方ではなく、学生自身に芽生えた問題意識を基に、問題解決に向けて学生が主体となって共同作業を行います。実際に現地へ出向いたり、講師を招いたりするアクティブな授業形態です。この試みが全学に広がっていけば、同志社教育改革の1つの特長になるのではないかと思います。

川崎 文化情報学部で始めの「プロジェクト」

や「ロキアム」などの科目が、文学部の「プロジェクト科目」と同じような役割を果たすことになるでしょうか。

小山 全学に対する効果として、社会学部では他学部履修可能な科目を増やしていきたいと考えています。相應の努力をすれば、他学部の学生であっても社会学部関連の資格取得を認めていきたいと思います。

余語 付け加えるならば、全学的に「本物」に触れる機会をもっと増やす必要があるのではないかと思います。芸術作品も本物を見ることが重要です。文学作品もその作品が生まれた土地の空気を吸うことにより理解を深めることができるでしょう。人物にもメディアを通してではなく、できるものなら直接会いたい。そのために国内外の視察や研修の機会などを増やす体制を大学として整えていきたいものだと思います。幸いなことに京都には多くの文化遺産があり、伝統の継承者が活躍しておられるので、その利点も活用したいと考えています。

真鍋 従来の「1対多」ではないもの、あるいは一般的な教養ではなく専門的かつ開かれた教養というものを意識した改革が行われようとしている、ということですね。3学部が並び立つことにより、同志社大学の学びの形は進化を続けていくように思います。本日はありがとうございました。



「ロボット」の研究をしていた私が小説「パラサイト・イヴ」を書いた時、いくつかの面白い反響がありました。例えば、巻末に参考文献一覧を掲載しています。論文では当然ですが、小説でそれをする、内容が引用だらけだと思われてしまうとの指摘を受けました。また小説はフィクションなのだから、本来事実を究明する立場である科学者が小説を書く、科学者全体の信用がなくなってしまう、とも言われました。それ以来、小説家としての仕事の大変さを実感すると同時に、文科系と理科系について何だか、と考えるようになりました。

「数年、子どもが理科離れをしていると言われています。しかし私が思うに、それは理科に限ったことではなく、国語離れであり、「社会離れ」であり、美術離れでもある。つまり、すべてに関心が薄れているように見えるのです。何かに対して面白いと感じた瞬間、それはすでに、学んでいる瞬間であるはずなのに、この感覚を持たないことが原因なのではないかと思えます。世界を深く理解したいという衝動は面白さにつながり、やがて学問へと発展していきます。文科系・理科系を問わず、これは一般的な学問でも同じだと思います。

私は今、ロボットにも関心があります。大学時代の研究分野だった生命科学と、最近活発になってきたロボット工学とは、実は表裏一体の関係だといえます。生命科学では、ヒトノムを解析することで、人間の存在を内側から把握しようとする研究が進んでいます。一方、ロボット工学では、人型ロボットを動かすことで人間が身体をどう動かして、知能をどう動かしているかを把握しようとしています。つまり、どちらも人間とは何かを解明するための研

文化情報学部開設記念シンポジウム「文・理の壁を壊せ」基調講演

『人間らしさ』の謎解く科学

究だといえるのです。大阪大学で先頃、人間をつくりの表情や動作をするロボットが開発されました。『ロボット』を目の前にした時、人間は何を思うのか。このロボットは、企業の受付などで使用されることを想定していますが、精巧すぎるロボットに不快感を覚える人もいると思います。人間と人間以外の境界線をどこに引くのかという問題に直面するのです。これは人間とは何かを自問する、文理を超えた21世紀型科学の第一歩だといえるでしょう。

1950年、アイザックアシモフはロボット工学



せな ひであき
瀬名 秀明さん

作家。1968年生まれ。東北大学大学院薬学研究科修了。博士課程在学中の1995年、「パラサイト・イヴ」が日本ホラー小説大賞。「BRAIN VALLEY」(日本SF大賞)など著書多数。

ら研究テーマを見つけていることがわかります。面白いと感じたことを心の中で醸成することで、それまで見えなかったものが見えるようになるそうです。科学者の研究という人間臭さが乏しいと思われがちですが、実は極めて人間的な感情からスタートするものなのです。

私たちが多くは10代で文科系・理科系を選択します。これを、切り捨てたと考えず、自分の好きなものを選び行為だと思いたほうがいいでしょう。たぶん今は興味を持ってなくても、そこに何らかの注意を払っておくことが将来の学問にとって重要なことなのです。そのために、大学のカリキュラムでは、文科系科目と理科系科目を結びつけることにより、教養科目と専門科目を結びつけるべきなのではないかと思えます。教養科目を通して広く興味を持ち、そこで専門科目と融合点も出ていくことを進める必要があるかもしれません。文理融合とは、心の中に生じた面白さを突き詰めていくことなのです。それは、私たちが日常目にしている現実だ、驚くべきこと

つまり普通だと思っていたのに面白さや喜びを見いだすことにはかならないのです。

2004年9月11日
於 寒梅館ハーティール

ロボット工学3原則

- 【第1条】ロボットは人間に危害を加えてはならない。また、その危険を看過することによって、人間に危害を及ぼしてはならない。
- 【第2条】ロボットは人間に与えられた命令に服従しなければならない。ただし、与えられた命令が第1条に反する場合は、この限りではない。
- 【第3条】ロボットは、前掲第1条および第2条に反するおそれのない限り、自己を守らなければならない。

学の3原則」を定義しました。ロボットが社会で機能しようとした時、人間の倫理観を踏襲しなければならぬことを上手く表しています。1980年代の3原則の第1条件が、人類に危害を加えてはならない。またその危険を看過することによって、人類に危害を加えてはならないと修正されました。対象が「人間」から「人類」に変わったことで、ロボット工学の法則から「ヒューマン・人間学」の法則に発展したといえるようになります。つまり、人間学との相互交換が求められているといえるわけです。

科学者と話をすると、彼らは自分の体験が

ハリネズミと狐

「二」数年、イギリスの思想家マイサイア・パーリンの自由論を研究している。彼の著書の中で手軽に読めるものとして、『ハリネズミと狐』（岩波文庫、1997年）がある。パーリンは古い詩句から「狐はたくさんのことを知っているがハリネズミはでかいことを一つだけ知っている」といつ一行を引用する。彼はこの謎めいた言葉を比喩的に解釈し、その言葉に作家と思想家、ひいては人間一般をも大別する差異を指し示す意味を持たせている。すなわち、一方では全てのことを単一の体系に関連させることにすて理解する人々々々、他方ではしばしば無関係で時には互いに矛盾している多くの目的を追求する人々々々である。パーリンは両者の間には大きな裂け目が存在すると述べた上で、第一の部類の知的・芸術的人間像を「ハリネズミ族」、第二の部類を「狐族」に分類している。

「二」でパーリンはトルストイがハリネズミであろうとした狐「だ」という結論を下す。さて「二」のハリネズミと狐を学生生活にあてはめてみると「だ」だろう。過度の一般化は危険だがハリネズミ族と狐族に分類できるのではないだろうか。ハリネズミ族の学生生活としては以下のもので考えられる。例えば、ゼミや研究室の研究・実験に没頭する、資格試験の勉強に邁進する、文学全集を読みふける、スポーツや楽器の練習に明け暮れる、等々。「二」のタイプは他のことには目もくれない。一つのでかいことだけに集中するのである。それに対して、狐族の学生生活としては、学業、クラブやサークル、アルバイトをさつなくこなし、趣味や恋愛にも余念がない、といったものが考えられる。このタイプは、「一つのでかいこと」に集中するのではなく、たくさんのことを満遍なくこなすのである。なお、たくさんのことを満遍なくこなすこと、その中の一つで抜群の才能を発揮するような、トルストイタイプの学生生活もあるだろう。

さて、皆さんの学生生活はハリネズミ族と狐族のいずれのタイプにあてはまるだろうか。あるいはトルストイタイプだろうか。すべには答えが出ないかもしれないがハリネズミと狐の比喩に照らすと、自分の現在の、あるいは理想とする学生生活が、少し違って見えてくるかもしれない。もちろん、そのいずれにもあてはまらないが、自分なりに充実した学生生活を送っているという人は、それで結構である。以上はあくまでも一つの分類法であり、多様な学生生活を包括的に分類することは不可能である。

なお、いずれのタイプにも属さず、しかも退屈な毎日を送っている人がいれば、パーリンとトルストイをあわせて読めば、数カ月のアカデミックな暇つぶしになると思う。



法学部助教授

濱 真一郎

Shinichiro Hama

1968年長崎県諫早市生まれ。
1992年早稲田大学法学部卒業。同志社大学大学院法学研究科博士課程（前期課程）およびエディンバラ大学大学院（LL.M. 課程）修了。同志社大学大学院法学研究科博士課程（後期課程）を経て、1999年同志社大学に助手として入社。2000年に専任講師、2003年から現職。専門は法哲学。

「同志社の研究は今」

ヒューマンセキュリティ・サイエンスという 新たな学問領域を切り拓く

2003年4月に創設された「ヒューマンセキュリティ研究センター」。同センターは、「ヒューマンセキュリティ・サイエンス」という新たな学問領域を確立し、誰もが安心して暮らせる幸福な社会の実現に貢献することをめざしている。センター長の安藤仁介法学部教授に話を伺った。

「セキュリティ」の訳語にあてられる「安全保障」という言葉はこれまで、国家が外部からの侵略を防ぐための領土保全や政治的独立の保持を意味する「国家の安全保障」として用いられてきました。しかし、1994年、UNDP(国連開発計画)の「人間開発報告書」に「これまでの安全保障という概念をくつがえす『ヒューマン・セキュリティ』という言葉がはじめて用いられました。このヒューマン・セキュリティ、つまり、人間の安全保障」は、国家がいかに外敵に対して安泰であっても、その中で暮らす個々の国民は必ずしも安全な状態にはないことを指摘し、国家の側からだけでなく、個人の側から安全保障というものを捉え直す必要性を強調していました。そして、人間の基本的な生活権や生存権、あるいは尊厳を脅かすあらゆる問題に積極的に取り組み、それらの脅威からの解放をめざしている点が大きな特徴です。安全保障は、一人ひとりの安心・安全につながる「ご意味があります。この概念を発展させ、ヒューマンセキュリティ・サイエンスとして学問的に追究しようと立ち上げられたのが、本研究センターです。

現在、「総合感情学」「社会・福祉」「国際人権・人道」「環境・ヒューマンテクノロジー」とい



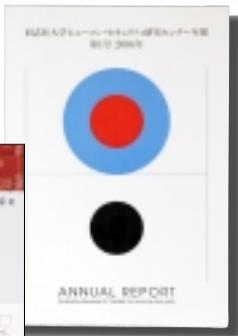
安藤 仁介

【ヒューマン・セキュリティ研究センター所長、法学部教授】

う4フィールドで総合的な研究を行っています。ただ、ヒューマンセキュリティ・サイエンスという学問領域が確立されているわけではありません。当研究センターでは、「安心感」とは何かというヒューマンセキュリティ・サイエンスの基礎論の確立から、個人レベルの問題、社会システムの問題、自然・地球環境のグローバルな課題まで幅広く研究し、学際的・国際的なアプローチを試みています。

ヒューマンセキュリティ・サイエンスという 新たな学問領域を切り拓く

当センターの研究成果として『同志社大学ヒューマン・セキュリティ研究叢書』を発行。その第1弾『科学技術の行方—知の競争とヒューマン・セキュリティ』石黒武彦 著



1年間の活動報告と研究内容を紹介した『同志社大学ヒューマン・セキュリティ研究センター年報 第1号』

「この研究を行う上で大切なのは、社会システムと個人というレベルの異なる2つの視点を持つことです。例えば、日本社会の高齢化を考えると、日本人の平均寿命は戦後まもなく男女ともに50歳を超え、それ以降医療技術などが飛躍的に伸び、今や80歳前後に達しています。世界で有数の長寿国です。しかし、寿命が延びたからといって高齢者が幸せかといえば必ずしもそうではありません。年金や介護などの問題、さらには哲学や心理学を用いて個人の安心感といった点まで掘り下げて、検証して見る必要があります。逆に1つの国では処理できない環境問題など国際的な取り組みを求められるテーマは、グローバルな視点で捉えることが必要になっていきます。

活動を始めて一年半あまりが経ちました。ようやく、ヒューマンセキュリティ・サイエンスの外枠が固まりつつありますが、学問体系として確立するには、まだまだトライ&エラーを繰り返す必要があります。その過程で細分化・専門化している学問領域の脱領域化や



10月23日、今出川校地明徳館で開催された公開シンポジウム「ヒューマン・セキュリティ研究の現状と課題」

再創造化を促すことになるでしょう。そして最終的に、個人が安心して生きられる条件を提示することが私たちのめざすところだと。孔子の『論語』に、「吾十五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。六十にして耳順ひ、七十にして心の欲する所に従ひて矩を踰えず」という文章がありますが、最後の文の、六十歳で人の言うことを素直に聴けるようになり、七十歳で心の欲するままに任せても人の道にはずれることがない」という共生の地点をめざしているのが私たちの学問だといってもいいでしょう。本研究センターの研究会には、学部生や大学院生もたくさん関わっています。枠にとらわれないで、新しいテーマを見つけ、どんどん磨き上げてほしいです。

2005年度、大学院総合政策科学研究科に「ヒューマン・セキュリティ研究コース」開設

「ヒューマン・セキュリティ研究コース」は、21世紀の人類社会が取り組むべき喫緊の課題として世界的に注目を集めつつあるヒューマン・セキュリティに関する諸問題を対象とし、人文科学的アプローチ、社会科学のアプローチ、自然科学的・科学技術的アプローチを相聞させ、学際的な方法で高度な教育・研究を行うことをめざす新しい研究コースです。

同研究コースではヒューマンセキュリティセンター、ヒューマンセキュリティ・サイエンス学会と連携し、人文・社会・自然科学の各分野の壁を取り払い、柔軟かつ斬新なカリキュラムを作成しており、文理横断的・学際的な方法によって専門的に学ぶことができます。また、知識と道徳の一致理論と実践との融合を図り、高度な職業人の養成と専門的な研究者の養成との両立をめざします。



CEM2004

— 来年度就職をめざす皆さんへ —

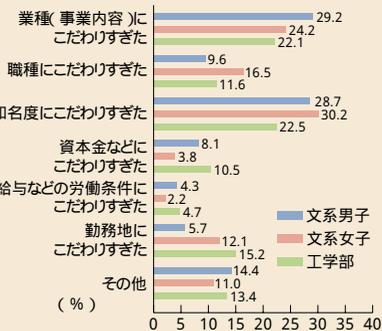
豊かな人生のために 充実した学生生活を

就職を取り巻く状況

2003年度(2004年4月採用)の就職状況は、就職率97.1%と前年度に比べ1.7%アップと好調に推移しました。2004年度(2005年4月採用)でも、日本経済新聞社(2005年4月採用)調査(2004年4月23日付)によると大学新卒採用予定人数は2004年4月採用実績に比べ2割増しと大幅に改善しています。本学でも10月時点での報告ペーパーの内定状況ではありますが、昨年とおり順調に推移しています。

今年度は、就職活動の流れが大きく変わりました。2003年10月に発表された、日本経団連の卒業学年に達しない学生に対して面接などの実質的な選考活動を行うことは

応募先選択段階での反省点



厳に慎む」という倫理憲章を多くの企業が守り、ほぼ4月1日から就職戦線がスタートしました。その結果、例年ならば業界ごとに採用活動の時期が分かれていたのが、同時期に採用活動が集中する「短期決戦型」となり学生企業ともに厳しいスタジールの中で、意思決定を強いられた結果となりました。

また、優秀な人材のみを数多く採用したいという「質」を重視する厳選採用の中の「量の確保を求めた採用活動の結果として、採用レベルを越えた学生に複数の企業からの内定が集中しました。その反面、就職活動初期の段階で、自分をうまく表現できなかった学生や就職に対する意識醸成の遅れた学生には立ち直る機会のないまま最初のヒックが過ぎ、就職活動が長期化するという極分化がますます進行しています。

一方、採用側でも、5月以降、重複内定を控えている学生の内定辞退のため、2次募集・秋採用を実施する企業が増加しました。しかし、これらの企業でもあくまで一定のレベルを設け、その線に達していない学生を無理に採用することにはしていません。

企業の求める人材

某電気メーカーでは、本社採用はこれまで国内の学生を対象としていましたが、2004年度の採用では、外国人の本社採用を実施しました。このように、企業はグローバル化の中

今年度就職活動をした 先輩からのメッセージ

(2004年度 就職に関するアンケート)から

院、知識、男ソフトウェアサービズ自分が希望する業種・職種と自分に適した業種・職種は必ずしも一致するとは限りません。就職活動を進めていくうちに、自分が本当にやりたいことに気づく場合もあります。そのような時のために、初めのうちは様々な業種・職種を受けてみることをお勧めします。 経済 女学生

「採用面接」早い時期から業界研究をしておく事が大切で、興味がある業界にはどういった会社があるかを調べて、早めにエントリーした方がいいです。4月を過ぎてから慌ててエントリーしても連絡がなくておかれた事が多かったからです。 経済 男ソフトウェアサービズ

就職活動中に限らず自己分析は重要だと思います。ただ、はまりすぎると自分自身を過大あるいは過小評価してしまうくらいがあるので、親しい友人の前で自己PR等をして他人の意見も参考にするれば、より良い自己分析に繋がると思っています。 新聞 女学生

「自己分析などをしていて、自分は何ていうも人間なんだ」と感じる時があると思います。でも、それは自分という材料が悪いのではなく、表現次第で、お、「イヤっ面白いぞ」と思わせることができます。特にリスノミの場合は表現力より魅せるかを問われているのだと思います。 心理 男ソフトウェアサービズ

「いこうとするのか」という職業観についても考えてみてください。そうすれば、あとは少しの自信を持つだけでかなりの質問にも対応できるはずです。というのは、職業観を持てば、志望動機も会社選びの基準も、という仕事をしたいかも10年後の自分も全て答えられるからです。 美芸 女学生

「早くから人と関わると、先輩でも、キャリアセクターの人でもOK。1人であちこちのは向かっている方法が正しいのか、今何をやるべきなのか等で迷路に迷いこみます。いろいろな人の話を聞いて、客観視する機会を持つ方がいいです。 商 男自動車部品メーカー

就職活動中にはいろいろな噂が流れますが、噂よりも自分の足で実際に会社説明会等に参加して確かな情報をキャッチした方が有益です。 商 女ソフトウェアサービズ

「筆記対策は重要です。選考ステップの第一歩なので、しっかり勉強してください。 経済 男ソフトウェアサービズ

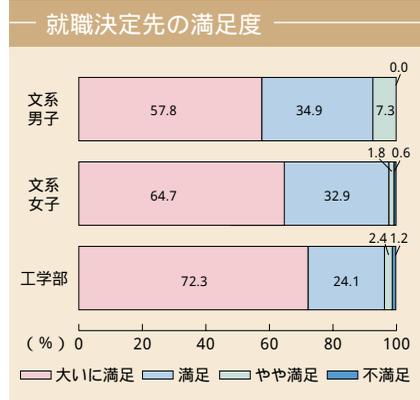
面接までの準備が就職活動と言っても過言ではありません。引き出しを多く用意しておけば、本番で焦ることは絶対にはいりません。ただし、一度の面接で、あれを言おう、これを言おう」と欲張りす

皆さんが就職に期待するのは、収入による自立「社会参加による貢献」能力を活かし

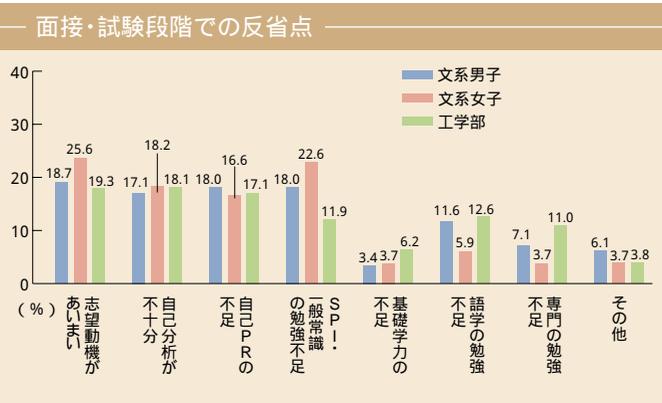
来年度就職をめぐる皆さんの

「このような社会の中で、豊かな将来を築くためには、学生生活において、目標を持ち、問題意識を持ってチャレンジし、その経験の積み重ねや、ゼミでの勉強」などによる学問の積み上げによつて、充実した学生生活を送り、自分自身を高めることが大切です。すなわち、学生時代において、よく学び、よく遊ぶなかで、「人間力」を蓄えることが重要となります。この「人間力」とは、人を思いやる力、「コミュニケーション力」、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどで構成される、その人の人柄、人間的魅力です。

充実した学生生活を



で競争に勝ち残るため、優秀な人材を世界各地から集め始めています。従って、日本国内の採用でも、求める人材要件は語学はできて当たり前、その上で、新しい価値をつくれる力や「何かを変える力」と高いレベルを求めています。



た自己実現だと思えます。そのためにはまず、自分自身を知ることで自己理解が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業、企業で発揮できるかを考えてください。そのためには、OB・OG訪問などで幅広く情報を収集することが大切となります。そしてある程度、業界・企業研究ができたなら、次には自分のやりたい職業、働きたい企業を絞り込み、業務内容をよく調べ、自分はこの会社でどのように働きたいかを話せるようにしておくことが大切です。採用担当者は、面接などのやりとりから熱意、「コミュニケーション能力」、問題意識、行動力を見て、一緒に仕事をしたいかを判断するからです。皆さんに魅力ある企業は必ず発見できるはず。自分を信じて、就職活動にチャレンジしてください。

できると、それができない時に焦って失敗します。法律女都市銀行 同じ失敗を繰り返さないこと、流れ作業的な感覚で単にこなすのではないこと、前回、今回より次回の方がより良い面接と前より今姿勢で挑むことが大切です。商男小売業面接の時、質問に対する正解はないので、自分の考えをしっかり持ち、しっかり伝える事が大切です。経済男「公共」面接や筆記試験は慣れたとよく聞きますが、それは本当でした。また、なるべく大切な面接の前にはどこかの会社の面接を受けた方がいいと感じました。慣れたきた終盤戦でも間隔が空いてしまうと調子が狂います。院・法男情報通信機械器具メーカー「就職活動は字の如く、就職活動です。就社活動ではありません。自分のやりたい事をはっきりさせる事が一番大事だと思います。規模や知名度にこだわらすぎない。後は面接で、その熱い想いを正直にぶつけたいと思います。間違ってもウソや、その場を取り繕うような発言はやめましょう。入社後に、こんなはずでは」と後悔することになります。

法律女公務員 国家公務員 種の官庁合同業務説明会では、気になる官庁の個別コースへどんどん行った方がいいです。質問だけでなく、少人数で説明を聞く事ができますし、自分の熱意のアピールにもなります。機械システム男公務員公務員をめざす人は、大受験並の勉強量が必要であると覚悟して欲しい。周りの友達が民間企業に次々と内定をもらって精神的に焦りが出ている時もあるが、自分を信じて最後まで諦めずに努力すれば必ず合格できる。経済女通信業学生時代に何か一つでも、この経験は人に自慢できやうものを身につけておくこと、面接のネタとしてではなく、自分の自信にもつながります。就職活動では、何か自分の中で核となるものを身につけた方がいいです。やりたい「仕事」「夢」等明確な何かがある中においては、就職活動は必ず成功します。法女「地方銀行就職活動で知り合った人たちの交流も大切にする」と。情報交換をしたり、一緒にご飯を食べることで気分転換もできると思います。商女都市銀行就職活動で落ち込むのは当たり前です。悩んだ時にこんな悩み、やると決めたらやり通すという気持ちの切り替えが大切です。最終的に決めるのは自分なのだから、自分をしっかりと納得いくまで続けてください。文女右製薬メーカー「就職活動中は、たいていの人が傷つき悩むことと思います。一緒に励まし合える友達や、先輩、両親など身近な人を大切にすることを忘れず頑張ってください。政治男新聞・出版業真剣な思いなら、必ず相手に通じます。まずは自信を持ってください。あなたの最大の味方はあなたです。

新島襄の旅した風景

北九州編

熊本バンド、柱状節理、菅公を追う旅

文と写真
本井 康博

博多

新島襄は九州が好きであった。とりわけ「九州男児」の「元氣」と「精神」に大いに共鳴していた。交通不便な時代に2度までも歴訪している。その背景には、熊本バンド、特に同志社英学校第1回卒業生の存在が大きい。1879年の南九州に続いて、翌年、新島は2カ月も学校を留守にして西日本を巡った。京都発は10月11日で、妻の八重も同行した。神戸から乗船し、岡山、多度津、今治、三津浜、松山、馬関(下関)を経て、24日に博多に入港した。

その道中は伝道一本である。熊本バンド、とくに岡山の金森通倫、今治の横井時雄、それに博多の不破唯次郎への応援であった。彼らはいずれも前年6月に同志社余科(神学科)を卒えたばかりの駆け出し伝道者であった。博多でも、着いた日、日曜であった(の夜に伝道所で説教を行った。伝道所とは不破の借家本町6番地)にほかならない。

福岡警固教会

博多では新島は甘木屋中島町(ついで岡崎屋川端)を宿に約1週間滞在した。連日、説教や講演、来客、信徒訪問、親睦会、伝道

協議と多忙である。その拠点はもちろん不破の伝道所である。彼は同志社卒業直後の1879年12月に地元の信徒たちから招かれて博多に赴任し、私財を傾けて伝道に取り組んだ。赴任4カ月後に本町に伝道所を開いた。新島訪問の半年前である。新島の勤めで、英学校設立計画も浮上していた。信徒たちは5年後の1885年6月7日



福岡警固教会

には呉服町に会堂を新築し、教会設立式を挙げた。建築資金に関しては、当時渡米中の新島の尽力が大きい。彼はドチエスターに住むE.J.W.ベーカー夫人などから献金を取りつけ、不破に送金した。ボストンから英書も送った。不破は新島のいわば秘蔵子であった。教会は、今は福岡警固教会の名で都心(警固町)に行む。

芥屋大門

さて、新島は博多伝道の激務の合間を縫って2度だけ観光に時間を割いている。ひとつは博物館見学で、「理学士」らしく石炭業情報に興味を示した。いまひとつは、芥屋大門(玄海国定公園中の天然記念物)見物である。10月28日、不破ら4人が同行した。



芥屋大門(福岡県糸満半島)



芥屋大門の柱状節理



新島が描いた柱状節理(左)と芥屋大門(右)



梅屋の現況。新島は前の船溜まりから乗船したはず。

この見物は地質学大好き人間・新島の最大の希望であろう。日本最大の玄武岩海蝕洞だからである。新島は全景や六角柱状節理のスケッチを旅日記に留めている。

現在では博多から糸満半島の先端まで、下鉄、J.R.、バスの乗り継ぎが順調であれば、80分ほどの行程(34キロ)である。新島の場合、前原^{まえはら}まで5里の道を人力車で行き、そこからはずなせが徒歩である。2里とあるので可也山(365メートル)を突っ切ったのか。現地ではあいにく高波のために舟が出ず、やむ

なく梅屋に宿をとった。村中で瓦を置きたる家は唯梅屋一軒のみであった。その梅屋旅館はいまも健在である。

翌朝、朝食後ただちに「梅屋の裏より」小舟で現地向かう。梅屋の前は今も往時を偲ばせる船溜まりである。現在の遊覧船は洞屋内の見学も含めて30分ほど岬を周遊するのだが、新島たちは舟を接岸させ、小山の頂上に登っている。わずか64メートルの小山ながら四方は絶壁である。其の先は針の如く尖り、はなはだ危険であった。一方より登ってみたものの失敗。だが新島は諦めない。反対側から再挑戦する。だがこれも無理と判明し断念した。この執念は尋常ではない。今は頂上付近は立ち入り禁止である。新島は帰途、砂浜で水晶を探すが、これも徒労に終わった。

太宰府

11月1日、新島は博多を発ち、久留米に向かった。途中、太宰府の住人(三木隆介)をカイドに太宰府天満宮を見学する。餅の名物(飛梅)梅ヶ枝餅が目に入った。甘党の新島としては見過ごせなかつたであろう。さらに見事な楠の大木、数本(現在、1本が天然記念物)に目を見張ったり、「宝物」を見物したりした。新島が見物した文化財の何点かは、現在も宝物殿で公開展示されている。

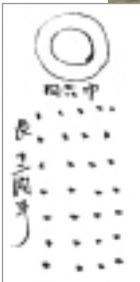
たとえば、数本の名刀や菅原道真の「真筆」(伝承)である。後者は道真が配所で詠んだ「離家三四月」の五言絶句で、新島はこれを全文書き写している。「落涙百千行 万事皆如夢」の一節に、密出国後の自身の心境をだ

ぶらせていたに相違ない。現在では、境内に徳富蘇峰筆の石碑も建つ。自称、菅家の子孫の蘇峰は、菅原正敬と署名する。

新島は、道真が業をなした天拝山を眺めながら彼が住んだ「工ノ木寺」を経て、都督府楼趾に至った。ここで、都督楼の古趾と碑の周辺にある「沢山の石基」をスケッチに留めている。さらに「瓦の小片」を拾っているのは、「都府の椽にわずかに瓦の色を看ると詠った道真を偲んでのことか。新島はのちに宮城県の高賈城跡をも訪ねるので、東西二天地方府への関心は高



太宰府跡に残る礎石



新島が描いた都督府礎石

いといえる。

都督府楼趾の次は、観世音寺と西戒壇である。後者では堂前の鐘楼に登り、鐘を撞く。日本最古の鐘である。今は国宝なので周囲には金網が張られ、新島の真似はとて



久留米の宿跡近くに立つ道路標識

久留米には夕刻、到着。三本松町の、福ドウ屋、岡「ウ之宿」で旅装を解いた。篠原正一「久留米人物誌」によれば、岡家が経営す

久留米

新島は正午過ぎにガイドと別れ、久留米に向かった。わざわざ「間道を通って」針摺（筑紫野市）を経由したのは、同地に残る菅公ゆかりの「なます石」や「鋤柄橋」を見たかったからではなかったか。

も許されない。新島がわざわざ撞鐘したのは、道真が詠った「観音寺は唯鐘の音を聞くのみ」を追懐したからで、新島はその歌詞を旅日記に留めている。菅公への追慕は深い。



新島が鐘を撞いた西戒壇鐘楼



除幕式（本年9月18日）当日の海老名弾正頭彰碑と筆者

る福堂屋である。今は一帯が三本松公園で、隣が市内随一の歓楽街である。後に森鷗外も同所（塩屋）に宿をとるが、あまりの夜の喧騒に閉口した。新島も眉をひそめたかもしれない。

当地には知人や信徒は誰もいなかったのだ、新島は夕食後、該地屈指の「人」に面会を求めた。幸い、郡長（宗小二郎）から土地の現況を聞き出すことができた。宗は新島より2歳年長で、戊辰戦争では筑後隊（久留米藩）の参謀助役として出征している。この宗から「福沢氏の卒業生」飯田某が教える中学校前年開校の県立久留米中学校かの存在を知らされた新島は、キリスト教主義教育の必要性

著者プロフィール Profile

神学部教授
本井 康博

1942年、愛知県生まれ。1968年、同志社大学大学院経済学研究科修士課程修了後、同志社大学嘱託講師、同志社社史資料センターアーキビストなどを経て、2004年4月から神学部教授。『京都のキリスト教 19世紀の同志社教会』（同朋舎、1998）『現代語で読む新島襄』（共編、丸善、2000）『同志社山脈』（共編、晃洋書房、2002）『新島襄と徳富蘇峰』（晃洋書房、2003）『新島襄の交遊』（思文閣、近刊）などの編著書がある。

を郡長に力説せずにはおれなかった。

翌朝5時に久留米を発ち、田原坂を経て熊本に向かった。そして、およそ1カ月後の11月29日、熊本からの帰途、久留米で一泊。翌日、博多に戻り、甘木屋に宿をとった。ここからは船便も風の具合も悪く、帰路は難渋した。馬関、三津浜、神戸を経て、帰宅したのは12月5日頃であった。7日の教員会議は2カ月振りの出席であった。

ところで新島はなぜか柳川には立ち寄っていない。当地からも海老名弾正（同志社総長）や小野英二郎（興銀総裁）ら数人が初期同志社に入社している。去る9月18日の海老名生誕記念日に同志社校友会久留米クラブの尽力で生誕地（新外町）の掘割（小野邸跡の近く）に彼の頭彰碑が建てられた。海老名は熊本伝道（熊本草葉町教会）の立役者で、九州伝道では博多の不破と双璧をなす、熊本バンドであった。

CAMPUS NEWS

キャンパスニュース



23年ぶりの快挙達成 学生女子ゴルフの 頂点に立つ

8月25〜27日、兵庫県ABCゴルフ倶楽部で開催された日本学生女子ゴルフ選手権で、恒川智恵さんと商学部4年次生が優勝した。同大会は朝日杯争奪全日本学生ゴルフ選手権と並び、学生ゴルフ界の2大タイトルに挙げられるもの。同志社大学女子選手としては23年ぶりの優勝となった。

恒川さんは両親の薦めで中学からゴルフを始め、高校時代には全国大会4位。体育会ゴルフ部に入部後は1年



次、3年次で朝日杯に優勝するなど、学生女子ゴルフ界を代表する実力者だ。

しかし、今大会優勝への道のりは容易ではなかった。一昨年は2位という好成績を収めたものの、昨年は9位「優勝して当然というフツッシャーで、気合いが空回りしてしまいました。雪辱を期した今大会、ラウンド中は他選手のスコアも目に入らないほど、自分のゴルフに集中できたことが良かったと思います」と振り返る。

10月1〜3日に開催された日本女子オープンでは、残念ながら予選落ち。この悔しさをバネに、いくら崩れたとしても、最低限のスコアをキープできる実力をつけた」と語る恒川さん。「当面の目標は、来年8月のプロテストに合格することです。そして将来は、アメリカでツアーを回りながら暮らしてみたいです」と夢を語ってくれた。

学生だけでしゅね 雑誌『Dactivel』創刊

今出川、京田辺両校地の生協書籍部に「Dactivel」一番身近な輝人達」という雑誌が並んでいるのを存知だろうか？ 同志社大学・同志社女子大学の学生に焦点を当て、インタビ



学・同志社女子大学の学生に焦点を当て、インタビ

ューや座談会アンケートなど内容満載の全52ページ、定価300円(税込)の1冊だ。

この雑誌の最大の特徴は、学生だけで企画・制作している点。学内のさまざまな団体からの有志およそ20人が集まり、4月から活動を始めた。発行のきっかけは、雑誌『京都の30歳』(NPOワーカースポーン)の取材・エイトに触発されたことだ。『京都の30歳』は、京都府経済学部3年次生は、『京都の30歳』は、京都の名もなき30歳前後の20人を追いかけたものですが、それにドラマがある。それと同じく、夢や希望を追いながらも挫折や苦境に遭い、日々葛藤し、成長している同志社の学生の生き様を伝えたいと語る。

『京都の30歳』にパート職員が取り上げられた同志社生協の協力も得て制作を進めた。企業への広告営業も行って資金を得た。さまざまな分野で活躍する学生や本学出身の木村政雄氏フリーランスライターや阪口伸六氏大阪府高石市長(入のインタビューなどを次々となし、当初の発行予定よりは遅れたものの発売にこぎつけた。編集を担当した小野田早さん(商学部3年次生)は、「制作当初は、本当に読んでもらえるかという不安もありました。しかし、いつ発行されるの、早く読みたい」といった声を聞いたとき、がんばることができました」と笑う。



次号の発行は現時点では未定だが、だが、佐野さんと小野田さんの2人は「後継者育成に力を入れた。ぜひ継続発行してほしい」と後輩たちに期待をしている。

同志社グリーククラブ創立 100周年記念行事 怒涛のカレッジシン グとグリー音楽史演奏 会「RCF」



10月10日、歴史と伝統を誇る同志社で最古のクラブグリーククラブ創立100周年の記念式典とコンサートが厳かにそして賑々しく開かれた。

1904年に初めて歌ったとされる讃美歌斉唱に続き、永眠者を、レクイエムで追悼。OB会会長式辞、大学長等の祝辞、OB会理事長の謝辞、現役の記念演奏と続き、この日のために委嘱した祝典曲「グロリア」作曲：池田晋一郎(の現役・OB合同演奏でハーティールは祝意と歡喜に包まれた。続いて現役からOBまでを9ブロックに分けてのグリー100年の歴史を演

れた。台風一過の秋晴れの下、寒梅館にグリークラブの現役・OBとその関係者が続々と集まり、同志社らしく、またグリーらしく、「音楽礼拝」の記念式典が始まった。

妻と映像でつづるレインボー・ネットワーク
ヨシノエステイバム(RCF)。65歳以上
のオールドクレーメンによる深く温か
い演奏を聴くに、虹色のアプロックに
分けた年代ごとのその当時は彷彿さ
せる曲目(ハーマン)の演奏が続き、ラ
ストは9月に渡米演奏旅行を終えた
ばかりの現役の映像と生演奏のオーバ
ーラップしたステージに会場は新しい
01年目に向かうグリックラフの未来
に熱気に満ちた拍手が続いた。

記念式典の最後をしめくくる記念
レセプションでは、今まで数え切れない
くらい歌い続けてきたはずのクレーメ
ンの誰もが経験し得なかつた歴史的な
現役とOB500人による怒涛の
「Doshisha College Song」の響きでフ
イナレを迎えた。

(1970年経済学部卒業 高橋 博)

第4回京田辺〜今出川 踏破イベント

10月10日、ウォーキングプロジェクト
歩知が主催する京田辺校地から今出
川校地までの35kmを歩く企画が行われ
た。今回で4回目になるこの企画は、
徐々に学生や地域に浸透している。

当日の朝、京田辺校地正門には、同
志社大学生を中心に地域の小学生が
ら元気なお年寄りまで幅広い年齢層の
参加者164人が集まった。前日の台
風が嘘の様なすがすがしい青空のもと、
チャリダーの応援を受けて出発した
長い道のりの中には休憩ポイントが



あり、京田辺
の地元の方か
ら差し入れて
もらったお茶
やお菓子で、
参加者は元
気を取り戻
し、リタイア

することなく全員が今出川校地まで
踏破できた。到着時には、混声合唱団
「まぐわの Doshisha College Song」
の合唱に迎えられ、生協食堂でおいし
い食事が振る舞われた。参加者からは
「今までのご飯の中で一番おいしいで
す!」と感激の言葉が。

このイベントは歩くことだけが目的で
はなく、歩きながらたくさんの人と出
会い、交流することでいろいろな価値観
に出会うことができるところでもある。歩
き切ったとに自信を持ち、自らの可能
性を発見する、新しい一歩を踏み出す
きっかけになることを願っている。

京田辺地域の皆さんや生協の方の協
力により、参加者全員が踏破できた
のだと感謝している。

(工学部2年次生 塩谷愛)

スポーツ政策シンポジウム 「地域貢献とスポーツ文化」

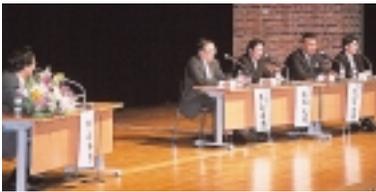
10月16日、寒梅館小ホールで
総合政策科学研究科主催のスポーツ政
策シンポジウムが開催された。シンポジ
ウムは、真山達志総合政策科学研究科
教授の「スポーツと地域」、萩本光威さ

ら1982年経済学部卒、ラグビー日
本代表監督の、企業とオールジャパ
ン課題、大八木淳史さん1985年商
学部卒、日本ラグビーフットボール協会
普及育成委員の、普及活動と学校の取
り組み、川井圭司政策学部助教授の
「スポーツと法整備の4つのキーノ
ット」の後、横山勝彦法学部教授を
コーディネーターに、講演者によるクロ
ストークが行われた。

今回はラグビーを題材に、競技力の
向上、普及の推進、行政や企業との関
係、地域貢献、法律上の問題という視
点から意見が活発に交わされた。

会場を埋めた聴衆の中には、熱心な
同志社ラグビーファンも多く、質問だけ
でなく激励や同志社ラグビーへの情熱
を表す言葉が飛び出し、会場は終始和
やかな雰囲気だ
った。

なお、大八木
さんは来年4月
から総合政策科
学研究科への入
学が決まってお
り、これまでの
活動を集大成
すると意気込
みを語っていた。



法科大学院等専門職大学院 形成支援プログラム採択

文部科学省の平成16年度、法科大
学院等専門職大学院形成支援プログラ

ムの審査の結果、教育高度化推進プ
ログラム(事業規模が年間1千万円以
上)で司法研究科関係として、国際的
視野と判断力をもつ法律家の養成(本
学単独)と、実務技能教育教材共同開
発共有プロジェクト(本学を含む11大
学共同)の2件が採択されました。ま
た、実践的教育推進プログラム(事業
規模が年間1千万円未満)にビジネス
研究科のDBS地域連携事業推進プ
ロジェクトが採択された。

現代的教育ニーズ取組 支援プログラム採択

文部科学省の平成16年度、現代
的教育ニーズ取組支援プログラム
(Good Practice)の審査の結果、プロ
ジェクト主義教育による人材育成、プ
ロユース・テクノロジーの創成が採
択された。本プロジェクトは、産官学連
携スキームを利用して、総合的な人間
力を有する人材育成を目的とし、そ
の基盤となる、プロユース・テクノロジ
ーの創成をめざすもの。同志社ロ
ー記念館では、プロジェクト主義に基
づくオンキャンパスの産学連携教育をス
タートさせており、多数の共同プロジ
ェクトが進んでいる。

宇宙飛行士の毛利衛さん を招き、シンポジウム開催

9月11日、京田辺校地恵道館201
番教室で、宇宙飛行士の毛利衛さんら

を招いて、シンポジウム「エネルギーの未来を考える」が開かれた。このシンポジウムは、高校生に将来の地球環境とエネルギーについて考えてもらうため、経済産業省近畿経済産業局との共催、読売新聞大阪本社の後援で実現したもの。会場を埋めたおよそ500人の高校生らは、毛利さんの講演や高校生3人を交えたパネルディスカッションを熱心に聴いていた。

シンポジウムではまず、毛利さんが「宇宙から見たエネルギーと生命」というテーマで講演。宇宙から撮影した地球の映像や写真を紹介しながら自身の2度にわたる宇宙飛行にふれ、「スペースシャトルで地球の3000~5000km上空を通ると、地球がひとつの生き物のように青く美しく輝いていた。いま地球上には3000万種ほどの生き物が存在するが、そのすべてがつながっている」と強く感じたという。その地球で問題視されている資源の限界や地球温暖化といった環境の変化について毛利さんは、「生命が生き延びるために、エネルギーをどうコントロールしていくかが大きな課題」と指摘した。

続いて、きつづ光科学館ふおとん館長の永井士郎氏と高校生3人を迎え、和田元工学部教授をコーディネーターにパネルディスカッションが行われた。現在、日本ではエネルギー消費量の半分以上を化石燃料に頼っているが、今後、どのようなエネルギーが主流になる

のか、という同志社国際高校3年生の森本千晶さんの質問に、永井氏は「自然エネルギーの活用も有効としながらも、太陽光発電の高コストなどの課題を指摘。またメタンなどの天然ガスと氷が固まったメタンハイドレートに期待する声もあがった。会場の高校生との質疑応答も行われ、「核融合発電は危険ではないのか」という質問に、毛利さんは「確かに危険性はあるが、日本の発電電力量の約30%を原子力でまかなっているのも事実。自由な議論を重ねて豊かな社会を築いていくことが大切だ」と語った。



ディスカッションを通して毛利さんからエネルギー問題を考えることの重要性を述べ、いま何がしたいかを真剣に考え、それぞれの分野で社会をいい方向に導いてほしいと結んだ。

ドイツ語スプリングフェストで最優秀賞にあたる、大阪ハンプルグ友好都市協会会長賞を受賞した長藤沙耶さん、文学部社会科学部産学関係学専攻4年次生 写真右だ。

「私はドイツ南西部にあるデュビンゲン大学に1年間留学していました。その間、ドイツ語で多くの失敗をしましたが、がんばって、そのひとつ、ドイツ人の友人から、今度のゼミの発表がたいへんだ」という話を聞き、たいへんだけどもがんばって」と言いたく使った言葉が実は、我慢してやりなさい」という意味でした。辞書にある訳語では伝わらないところが何度もありました。でもそういう失敗を重ねることで、ドイツ語が身についていたように思います。そして失敗を恐らずに自分から行動していくことの大切さも学びました。

長藤さんはその留学での経験を交え、外国語の中で慣用語の使い方、というテーマでスピーチ。その内容とドイツ語の発音や抑揚などが総合的に評価され、今回の受賞につながった。

昨年度の同賞の受賞者、今回MCCとして参加していた田中佐永子さん（経済学部4年次生）は、長藤さんのス

第15回ドイツ語スピーチコンテストで大阪ハンプルグ友好都市協会会長賞を受賞

普段、よく耳にする「がんばって」という言葉。この一言をドイツ語で伝えるのにひと苦労した人がいる。今回の

2人は同じクラスでドイツ語を学んだ仲。2人はともに「ギルアンハルト先生にスピーチのコツを丁寧に教えてもらいたおかげです。後輩たちも先生のアドバイスを受けて、ぜひ同志社大学3連覇をめざしてほしい」と期待している。

NPO同志社大学産官学連携支援ネットワーク設立

本学がリファインオフィスを設置してから2年。その間、京阪奈地区を中心とする地元企業、自治体との交流をはじめとする産官学・社会連携活動を活発に行ってきた。このたび、大学の知的財産を産業界にさらに有効活用し、大学発ベンチャーの起業を積極的に支援するための新しい仕組みとして、各界で活躍する卒業生とともにNPO（特定非営利活動法人）をスタートさせた。

このNPOは、大学と卒業生の絆を最大限に活かした人的ネットワークをベースとして、大学の知的財産を産業界にうまく還元するための仕組みを行政とも連携しながら構築することをめざす。活動は同志社大学関係者に限らず、広く賛同者の参加を募る。

設立記念式はホームカミングデーの11



ピーチは安心して聞くことができました。絶対優勝すると確信していました」と語る。



連絡先：NPO同志社大学産官学連携支援ネットワーク事務局
電話：0774-65-6223

月7日に今出川校地で開催され、官界や経済界から多くの列席を賜り、約70人の参加があり、和やかな雰囲気で行われた。本学の強みを活かした独自の産官学連携の成功事例を生み出し、京都をはじめ、日本の経済全体の活性化につながるような活動への期待が寄せられた。

特定寄付奨学金募金協力者ご芳名

経済的理由で修学を続けることが困難になっている学生を援助するために、2004年4月から、同志社大学特定寄付奨学金募金を広く社会界に呼びかけています。

11月5日までに、卒業生ご父母、一般および教職員の方々から以下のご協力いただきました。

2004年4月1日～11月5日

卒業生ご父母、一般

申込件数 74件

申込額合計 5,330,220円

教職員

申込件数 95件

申込額合計 8,645,000円

ご芳名

(2004年9月1日～11月5日受付分 敬称略)

卒業生ご父母 一般

2,000円 加藤 千明

1,000円 山田 正克

1,000円 安藤 洋一

1,000円 藤本 元

500円 萩原 潤平

500円 藤本 元

200円 笹岡 徹一

300円 青山 正英

300円 西岡 徹一

匿名 1人

当募金は引き続き申込みを受け付けています。皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

お問い合わせ先
財務部経理課
電話 075 251 3144
e-mail: jikeiri@mail.doshu.ac.jp

2004年度資格試験合格ランキング

司法試験 最終合格者数(ベスト10)			公認会計士 第2次試験合格者数(ベスト10)		
順位	大学名	合格者数	順位	大学名	合格者数
1	早稲田	226	1	慶應義塾	208
2	東京	226	2	早稲田	153
3	慶應義塾	170	3	東京	93
4	京都	147	4	中央	76
5	中央	121	5	神戸	62
6	一橋	57	6	明治	60
7	明治	46	7	同志社	56
8	大阪	45	7	一橋	56
9	神戸	33	9	京都	50
10	同志社	30	10	立命館	40

Present for You 『大塚節治再発見 福音的信仰をつらぬいた生涯』をさしあげます。

現在、東京都のあらかわ聖書集会で主宰を務める小笠成美さん(1957年神学研究科修了)が、このたび『大塚節治再発見 福音的信仰をつらぬいた生涯』(A6版、62頁)を出版されました。21世紀を生きる学生・卒業生の方に大塚の生涯からいろんなメッセージを受け止めてもらいたいとの願いから、同志社大学に90冊ご寄贈いただきました。

大塚節治(1887-1977)は、同志社入学以来1963年に同志社総長を退任するまでの60年間、一貫して「同志社人」であり続け、戦後の同志社教育・運営の支柱となった人物で、京都市名誉市民でもあります。

ご希望の方は、官製ハガキかE-mailで、住所・氏名・学部(卒業生の方は出身学部・卒業年)・「One Purpose」の感想をご記入のうえ、広報課までご応募ください。本がなくなり次第、発送は終了させていただきます。

広報課の住所・E-mailアドレスは裏表紙をご覧ください。

本学教員の新聞(総合情報センター調べ)

生成文法を学ぶ人のために 中井 悟 他 編 世界思想社 2,200円	ベシック経営学辞典 大田肇 岡本博公 他 執筆 中央経済社 2,600円
言語研究の接点…理論と記述 石黒昭博、山内信幸 共著 英宝社 4,000円	近江商人入門…CSRの源流 「三方よし」著 サントリー出版 1,200円
ドラクロワ(ダントネの小舟) ジエームス・トルピン著 清瀬みさを訳 三元社 2,200円	企業の刑事責任 川崎友巳 著 成文堂 5,500円
王の墓と奉仕する人びと 国立歴史民俗博物館編 辰巳和弘 他 執筆 山川出版社 2,800円	独占禁止法 瀬領真悟 他 執筆 弘文堂 4,500円
法社会学の可能性 木下麻奈子 他 執筆 法律文化社 5,800円	事典現代のアメリカ(CD-ROM付) 遠藤徹 藤倉皓一郎 他 執筆 大修館書店 1,600円
大量破壊兵器の軍縮論 村山裕三 他 執筆 信山社 8,500円	Series Law in Action 1: 法と社会へのアプローチ 木下麻奈子 他 執筆 日本評論社 2,000円
経済解析…展開篇 宇沢弘文 著 岩波書店 2,100円	弁護士活動を問い直す 佐藤鉄男 他 執筆 商事法務 4,800円
筆記療法…トラウマやストレスの筆記による心身健康の増進法 ステファン・J・レポレ 他 編、余語真夫執筆 北大路書房 3,400円	明日への挑戦 大谷賢 著 成文堂 1,800円
他執筆 北大路書房 3,400円	京都学とはじめ 森浩一 編著 中川要之助、武居明男 他執筆 新信書房 2,000円

トピックス T P I C S O P I C S 体育会硬式野球部 染田 賢作さんが 横浜ベイスターズに入団決定

関西学生野球春期リーグで初の完全試合を達成した投手として注目されていた、体育会硬式野球部の染田賢作さん(経済学部4年次生)がプロ野球の横浜ベイスターズへ自由獲得枠での入団が決まった。染田選手は「一軍入り、一勝、完投と一步一步確実に歩を進め、40歳まで活躍できる投手になりたい」「開幕での先発ローテーション入りをめざす」と力強い抱負を語った。



田尾 安志さんが東北楽天ゴールデンイーグルス監督に就任

体育会硬式野球部OBの田尾安志さん(1976年文学部卒業)が、来期プロ野球新規参入が決まった東北楽天ゴールデンイーグルスの監督に就任する。本拠地は仙台。

田尾氏は、大学在学中に首位打者2回、旧関西6大学リーグでシーズン最高打率という成績を残し、卒業後は、プロ野球の中日、西武、阪神で、引退後は解説者としてマスコミで活躍していた。

なお、楽天には平石洋介さん(トヨタ自動車、2003年商学部卒業)がドラフトで指名された。



同志社人訪問

ミュージシャン

笹野みちるさん に聞く

小倉 笹野さんが音楽活動を始められたのはいつ頃ですか。

笹野 同志社女子中学校3年でバンドを組んだのが最初です。ボーカルとベースを担当し、ビートルズやU2などのカバーをしています。ムセージ性のある曲が好きでした。高校進学後もバンド活動を続け、文化祭のステージにも立ちました。小倉さんもバンド活

動をやっているんですって？

小倉 はい、軽音楽部でベースを弾いています。ジャズの自由さが好きで入部しました。ビッグバンドとしてコンサートを開いたり、何人が集まってセッションしたりすることもあります。

笹野 軽音学部は本格的に音楽に取り組む印象がありますよね。私は軽音サークルに1年ほど在籍していましたが、そこで知り合った先輩と組んだのが「東京少年」の前身バンドでした。京都市内のアマチュアバンドのイベントに出演した際、レコード会社の人にスカウトされ、デビューしたのです。2年次を終えて休学し、東京で活動するようになりまし。デビューにあたってバンドメンバーを替えられてしまったのは辛かったです。それでも当時は行くしかないかと決意していました。

小倉 プロになることはバンドを始めた時からの夢だったのですか。

笹野 それは全くありませんでした。もともと私は教師になりました。というのは、私は同志社女子中学・高等学校が大好きだったから。自主性を大切にしてくれた先生との出会いや生徒同士が固く結束していたことなど、思い出すと本当に楽しい6年間でした。10代という大事な時期に、わがままで精神的にも弱かった自分を大きく成長させてくれたこの学校へ戻って、教壇に立つことが夢でした。バンド活動については、教師をしながら、自己表現の1つの手段として続けていきたいと思っていました。だから大学では真剣に勉強しました。

でも、その夢を持つようになるまでは、アイデンティティーの形成についてすいぶん悩

笹野みちるさん

【1992年経済学部卒業】

1967年京都市生まれ。1988年「東京少年」のボーカルとしてデビュー。シングル7枚、アルバム7枚を発表した後、1991年解散。1993年ソロデビュー。1995年、著書「Coming OUT!」がベストセラーに。1997年「京都町内会バンド」を結成。1998年「泥沼ウォーカー」を出版。バンド活動のかたわらエッセイストとしての活動も行う。



んだ時期がありました。後に参議院議員になった母の背中を見て育った私は、「自分も将来は名づけてのスペシャリストにならなければならない」といつブレシヤーと闘っていました。そんな私が変わったのは、高校時代です。クラスの人間関係で悩んでいた友人の涙ながらの相談を受けた私は、彼女と一緒に問題を解決にあたりました。その後、悩みを解消した彼女が輝いていく様子を目の当たりにして思ったのは、将来をあれこれ悩むのではなく、今この瞬間を熱く生きたいんだ、ということでした。日々変化する自分自身について興味を持ち、自己表現の手段としてのバンドにのめり込んでいきました。教師になりたいという気持ちも、その頃芽生えたものです。人間の根源的な変化に立ち会いたい、それが可能な仕事はやはり教師だろうと、皮肉なことに、勉強を始めた矢先にデビュー



の誘いがあつたわけです。

小倉 驚かれたのではないですか。

笹野 意外と冷静でした。これも何かの縁だと思いました。デビューすると東京での活動が中心とならざるを得ないので、2年次を終えて1年間休学しました。

小倉 デビュー後、音楽に対する気持ちに変化はありましたか。

笹野 そうですね、「音楽が好き」という気持ちと同じだったのですが、プロである以上曲を作り続けるのが義務になります。好きなことと達成しなければならぬことの狭間で、もがき苦しみました。「絶対リリックにならなくてやる」というハングリー精神の持ち主や、逆にそんなに必死にならなくてもすべてを上手くこなせる才能のある人、そのどちらかが成功する世界です。私はそのどちらでもないうえ、悩む姿勢が妙にクローンツァッパレたりして、当時の音楽シーン自体に胡散臭さを感じるようになってしまいました。そんな中で、ファン応援だけが支えてくれた。東京少年での活動はたった3年ですがありませんでしたが、20歳そこそここの私にとっては凝縮された3年間だったといえます。全部で7枚のアルバムを発表して解散しました。その後はソロ活動や本の執筆もしましたが、燃えつきて挫折して京都に帰ってきたというわけです。

小倉 実は僕、同志社高等学校で原田博行先生(1991年神学部卒業)の教えを受けました。聞くところによると、原田先生が笹野さんをバンドに誘ったのだとか。

笹野 京都に戻ってきたものの心身ともに疲れ果てていて、私は鬱状態でした。そんな時、大学時代からずっと知り合っていた原田さん

が、「暇だったら僕のライブにコースとして参加して欲しい」と声をかけてくれました。コースだけの参加から、やがてオリジナル曲を作ろうという話に発展し、気がつけばバンドになっていました。それが京都町内会バンドです。バンド名は、メンバーが近所同士だからというそれだけの理由です。ずいぶん投げやりですね笑。それが結成からもう7年経ちました。4人とも同志社大学の出身ですがメンバーそれぞれの音楽歴の中で、一番長く続けているバンドなのです。

小倉 どのような編成なのでしょう。

笹野 ギターの原田さんとパーカッションの私がツインポカールを務めます。原田さんは高校では熱血教師として通っているらしいですね。ベースキターの有田さん(2008年)

経済学部卒業)は、最少ですが、他のバンドのサポートと呼ばれるほどのテクニクの持ち主です。そして、キーボードが村田聡さん(1991年商学部卒業)。



笹野みちる『ナカナオリ』
2,500円(税別)
OBUR-0006

ラムス 管楽器が主ですが、どんな楽器で演奏するのか、アレンジをあれこれ考えるのは楽しいです。

笹野 それがバンドの楽しさですね。今はバンドと平行して、ソロ活動もしています。8年ぶりにソロアルバムを今年の3月にリリースしました。1カ月に1回のペースでエレキギターの弾き語りライブも始めました。題して「バグ弾き語り」笑。私はこれまでリードボーカルの経験がなくて、いつもバンドと一緒にしたから、弾き語りは新しい試みで、1人でもやるおもしろさも満喫しています。

小倉 曲はどのようにして作るのですか。僕はまだ作ることがないのですが。

笹野 オリジナル曲を作り出したのは大学1年次の頃です。最初は、先輩が作ったコード進行にメロディーと歌詞を付けるところから始めました。何度も繰り返し聴いているうちに、メロディーと歌詞が頭が浮かぶようになりました。最近は、シャワーを浴びてリラックスしている時や、日記を書いている時、移動中にぶと浮かぶことがあります。デビュー当時と違い、もう無理に作る必要もないので、自分のペースでやっています。

小倉 僕は気に入ったフレーズに、楽譜のない音を足して練習することがあります。僕も早く曲を作りたくなくなってきました。ところで、笹野さんは今後の音楽活動でどのようなことをしたいとお考えですか。

笹野 同志社大学の先輩に、豊田勇造さんという方がいらっやいます。1970年代からフォークソング界で活躍されている方が、今でも全国各地のファンに呼ばれてライ

ミュージシャン
笹野みちるさんに聞く

ブ活動を続けておられます。私も40代にならば、彼のようにギター一本抱えて全国津々浦々まわりたい。そして、ライブのお客さんとおつながらいられる。それが私の理想です。小倉 京都町内会バンドに関してはいかがですか。

笹野 まったく気が負けないだけに、ずっと続いていくでしょうね。最近、バンドとは、集めたいなものだなと感じます。集ると必ず温まる。メンバーそれぞれが温めている卵がかえると、ソロ活動へ発展する。たとえ周囲の環境が変化したとしても、ここだけは存在し続けることですね。デビュー当時、私はバンドに対して悲しい思いをいろいろしましたし、またバンドを成熟させたという経験もありませんでした。町内会の集まりみたいに作った今のバンドが、図らずも自分を育ててくれる場として続いていることは、とても不思議で、ありがたいことだと思います。

小倉 ところで、笹野さんがデビュー後に大学へ戻って来られたのはどうしてだったのですか。笹野 同志社大学が好きだったからです。確かにミュージシャンの中にはデビューが決まると退学してしまう人もいますが、それは避けられたのです。私はとりあえず休学しましたが、一刻も早く大学に戻ってきちんと卒業したい気持ちが消えませんでした。そこで休学を1年間で終わらせ、東京に拠点を置いていた間は、大阪でラジオ番組のレギュラーをしていた毎週土曜日に講義を集中させました。結局、卒業までは6年かかりました。が、自分でも頑張ったなと思います。

小倉 笹野さんが考える同志社大学の良さとは何でしょう。

笹野 学生みんなが伸び伸び過せる、気のいい大学ですね。がらがらする訳でもないし、かと言ってお高くまとまっている訳でもない。私学の良さ、そして学生の持つユニークな雰囲気が好きなのです。私たちは旧大会館が取り壊される直前、また寒梅館が完成したばかりの今年5月にモライブをさせてもらいました。そういう時にはやはり同志社人としてのアイデンティティを強く感じます。京都町内会バンドとして戻ってきてから、青春を取り戻した感がありますね。メンバーは旧大会館で多くの時間を過ごしたので、特に前回の寒梅館ライブでは感慨もひとしおだったようです。

小倉 最後に、学生へメッセージをお願いします。

笹野 私にして、音楽は人生そのものです。歌を歌ったり曲を演奏したりするには小手先の練習も大事ですが、その時の自分のまっすぐな感情をすべて音に込めると、まったく違う音楽になります。音の中に身体ごとタイプするので、これは音楽に限った話ではありません。学業でもサークルでもアルバイトでも、何をすることもその瞬間にやらなければならないことの中に飛び込む。そうすれば、毎日がきつくと楽しくなると思います。今の私でいうと、ソロライブがある時はソロライブに没頭します。家庭でもそうです。掃除の時は掃除、食事の時は食事。何に対してもタイプすると、充実した人生を送ることができると思います。音楽の秘訣は、人生の秘訣なのかもしれません。

小倉 本日は楽しいお話をありがとうございました。

INTERVIEWER



おぐら ひろき
小倉 寛朗貴さん

【文学部社会科学科メディア学専攻
1年次生】

軽音楽部に所属し、ベースギターを担当。ルポライターをめざして文学部社会科学科に入学。京都町内会バンドのメンバーである原田博行さんは、同志社高校時代にキリスト教を学んだ恩師。

音楽への熱い思いと仲間への信頼が
ひしひしと伝わってきました。

原田先生は笹野さんのことを「格好良い人だよ」と評されていました。今回のインタビューで音楽への思いを伺ってみて、まさにその通りの方だと思いました。また、音楽が好きなの同士で共感できるところがたくさんありました。例えば、笹野さんは3歳からピアノとバイオリンを習っていたそうです。「当時は嫌でたまらなかったが、今思えば良かったなと思う」と言っておられ、同じように3歳からピアノを習っていた僕とまったく同じ感想を持っていたことがわかりました。京都町内会バンドの話では、メンバーの皆さんがいかにバンドを大切に考えているかを知り、僕もいつかそんなバンドを結成したいと思いました。そして、音楽だけでなく何をやる時にもその瞬間にすべてを注ぎ込むという笹野さんの生き方は、今後の僕の人生に大きな影響を与えることでしょう。

「仕事」

MY JOB
MY LIFE

経験を次のステップへ活かす
ビジネスマンとしての
価値を高める。

私が大学を卒業する頃は、ブルジョア崩壊の直前で、学生にとっては超売り手市場でした。しかし、仕事は流行で決めるものではない」という両親の方針で、広島の実家に戻り、父が営む小さな保険代理店に入社しました。約4年間はまさに「仕事とは何か」という基本を学んだ時期でした。その頃、国際的に通用するビジネスマンとして生きていくことを決意しました。私は、ハワイ大学の日米経営科学研究所に留学。国際ビジネスを学び、人脈を広げること

で自分の市場価値を高めようと、一心不乱に勉強しました。
帰国後、企業研修先だったブルデマンシャル生命保険株式会社に入社し、広島支店に勤務しました。しかし5年ほど経つと、日本の金融市場に大きな転換期が訪れます。それは、大手

こんなに話し上手になっていた。
英語でビジネス文書を書いていた。
卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して級友の方々にとっては良き近況報告、生活の現実を考える機会になれば幸いです。



証券会社や生命保険会社の経営破綻と海外金融機関の日本進出でした。私はその海外金融機関のUBS信託銀行のプライベートバンキング部門に今ドットコムに転職されました。しかし、提示された給与額は前職の約半分。半年間悩み断り続けましたが、日本経済の外部環境に変化が起きている中で、これは自分にとっての大きなチャンスだと思い直し、転職を決意しました。東京での新しい仕事は、もちろん甘い世界ではなく、最初の口座を獲得するまで7カ月もかかりました。その間、正直、転職を後悔したこともありましたが、それでも困難な日々を耐えることができたのは、過去に乗り越えてきた苦難を振り返り、そこから得た経験と自信そして夢があったからです。

しかし、軌道に乗りにかけていた移籍2年後に突然、会社は日本からの撤退を決めました。その直後、人材が離ればなれになる前にクレディスイスファーストボストン証券会社からオファーをいただき、同僚数人とともに移籍しました。現在、私は投資銀行部門のディレクターとして、日本の銀行や証券会社、また世界の金融機関との激しい競争の中、日々仕事に励んでいます。

ビジネスマンが仕事のピークを迎えるのは、30歳を超えてからだと思います。その時期に、20代で積み上げた経験が仕事に活かされると感じています。ビジネスはどんなに複雑でも人

がやっていること。つまり人間力が試される場です。卒業後、有名大企業に入社したということは自分の価値とは関係ありません。20代のうちは楽な道や近道を選ぶ人が多いためかもしれませんが、その間の苦労こそが重要なのです。すると、働き盛りになると、そのスキルと経験を必要としてくれる人企業から声がかかるのではないのでしょうか。また、日本企業の多くが海外事業で利益をあげていることを考えると、これからは日本だけではなく、世界へ意識を向けることが必要です。さらに言うところ、そういう意識がなければ21世紀に生きるビジネスマンとしてはもはや通用しないのです。



P R O F I L E

にし よしひろ
西 剛弘さん

【1989年神学部卒業】
クレディスイスファーストボストン証券会社
東京支店法人本部事業法人部ディレクター

中学時代、スイス留学の経験がある西さん。大学時代は海外ミュージシャンの通訳アルバイトをしたほど語学が堪能だ。また、同好会で始めたゴルフは、現在も相当な腕前。「ゴルフはあくまで趣味なのですが、仕事で役立つネットワークは、仕事以外の場で生まれることが多いです。また、会議室なら聞きにくいことでも、ゴルフの帰りに本音で話をしてくれることもありますからね」とその効果を語る。

高校の授業で経済学に興味を持った私は経済学部に入學し、3年次には郡篤孝教授のゼミで環境経済学を学びました。その年にいわゆる「容器包装リサイクル法」が制定され、私たちはこの新法を研究対象に選びました。1995年当時は、環境への取り組みを「環境報告書」として自主的に公表する企業が現れ始めた時期でした。そのような企業の環境への取り組みが企業の競争力につながるという考え方に興味をもち、企業を社会的に評価する仕組みを探りたいと思った私は、開設されたばかりの総合政策科学研究科に飛び入りし、引き続き郡篤先生の下で環境経営の研究を進めました。まずは自分たちで考えてみなさい」という先生の指導方針のもと、単に制度の文面をなぞるだけではなく、制度制定の背景を探ることから生じる

MY JOB MY LIFE
社会の一翼を担うために
環境経営コンサルティングを
行う。

シリーズ

MY JOB,

第25回

私と

学生時代、とても無口だったあの人が、
学生時代、英語の苦手だったあの人が、
このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する
何を考えてきたかを取材しています。
学生諸君には将来のキャリア・プランと学生



問題点を発見し、改善策の提案に至るまでの深い分析力を身につけました。
研究科修了後、株式会社三和総合研究所（現UFJ総合研究所）に入社して初めて担当したのは、環境マネジメントに関する国際規格ISO14001の構築コンサルタント業務でした。認証取得をめざす企業の数が急増していた時代で、忙しい中にも充実した日々を送りました。振り返ってみれば私は辛いなことに、企業の環境意識の高まりと歩調を合わせるように研究テーマを発見し、それを仕事にすることができたのだと思います。
現在、私が担当している業務は、海外の環境報告に関する制度の調査です。日本では、環境報告書は企業が自主的に発行するものですが、オランダやデンマークなどでは、法律で発行を義務づけています。そうした国の制度や背景に関する情報を日本の環境情報開示の制度づくりの参考として、国内企業の環境経営を推進することが調査の狙いです。その他、環境会計やEFfandのための企業評価など、企業が環境経営を持続できるためのツールづくりを提案しています。こうした活動を通して、ほんのわずかでも地球環境に役立つことが私の理想です。その思いがある

からこそ、仕事に熱中できるのだと思います。調査を始めるのが非常に面白く、1つの案件にいくらでも時間を掛けたいというのが本音です。しかし、現実には複数の案件を同時進行させるを得ないので、そこが仕事として行う研究の難しさだと感じます。
同志社大学は個性を尊重する大学ですから、学生一人ひとりが自分らしさを磨き、異なる理想をめざして頑張れる環境があると思います。だから、学生の皆さんも世間の物差しに合わせるのではなく、常に「自分が満足できるかどうか」という物差しで測り、納得したうえで将来設計を立てることが大切なのではないかと思っています。そしてこれは郡篤先生に教わったことですが、世の中に対して「自分はちっぽけな存在だ」といって諦めてしまわず、「きつと変えていける」という希望を持つことが重要だということです。そうすれば、どんな仕事であれ、誇りを持って臨むことができるのではないのでしょうか。

P R O F I L E

かなや おおぎ
金谷 扇さん

【1998年総合政策科学研究科博士課程
（前期課程）修了】
株式会社UFJ総合研究所
環境・エネルギー部研究員



「入社してしばらくは、生活の120パーセントが仕事でした」と語る金谷さん。ハードな日々を乗り越えることができたのは、金谷さんと同様に上京して頑張る友人同士の絆だったそうだ。「家族みたくに私を支えてくれた仲間とは、学生時代よりも絆が深まった気がします」と振り返る。そしてゼミの先輩と昨年結婚。「さすがに今は仕事ばかりとはいかないので、仕事と家庭を両立させることが目標です」と笑う。

5 せ CEMENT

Cinema & Talk

「藤野行」^{フジノヨウ}「第13回日本映画批評家大賞 作品賞」授賞作品

	上映	監督講演会 & トークショー	上映
12月3日(金)	15:00 ~	17:30 ~	19:00 ~
12月4日(土)	13:00 ~	15:30 ~	17:00 ~

トークショー出演者 3日: 恩地日出夫監督×清水美那
4日: 恩地日出夫監督×市原悦子×清水美那

【場 所】今出川校地寒梅館ハーディーホール

【料 金】本学学生・教職員: 無料

一般: 前売1,200円、当日1,500円、
シニア(60歳以上)・他大学生: 1,000円

【チケット販売所】今出川校地学生支援課、同志社大学生協、京都新聞文化センター、
ジュンク堂書店京都店 他

チケット購入に関するお問い合わせは、シネマ・ワーク(075-255-5212)まで。

障がい学生支援 秋学期勉強会(開講期間中)

同志社大学で学んでいる障がい学生の理解と支援のために勉強会を行っています。

初めての方・関心のある方は直接お越しください

京田辺校地

場所: 京田辺校地学生支援課内(副業館)

毎週木曜日: 13:15 ~ 14:45

視覚関係勉強会

毎週金曜日: 13:15 ~ 14:45

聴覚関係勉強会

今出川校地

場所: 今出川校地学生支援課横BOX-D(寒梅館)

毎週火曜日: 15:00 ~ 16:30

視覚関係勉強会

毎週水曜日: 15:00 ~ 16:30

聴覚関係勉強会

視覚関係勉強会は視覚障がい学生をサポートする点字や対面朗読などの勉強を行います。

聴覚関係勉強会は聴覚障がい学生をサポートする手話やノートテイクなどの勉強を行います。

【お問い合わせ先】

京田辺校地学生支援課

【TEL】0774-65-7410

【FAX】0774-65-7409

今出川校地学生支援課

【TEL】075-251-3270

【FAX】075-251-3099

第15回同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

【出演】同志社学生聖歌隊、同志社女子大学聖歌隊、同志社大学ハンドベル・クワイア、同志社国際中学校トーンチャイム、京田辺市民合唱団、田辺少年少女合唱団コスモス、同志社大学神学部山内クラス、同志社大学キリスト教文化センター公開講座ソスペルクラス 他

【入場料】無料

【日 時】12月11日(土) 16:30 ~ (16:00開場)

【場 所】京田辺校地 新島記念講堂

【お問い合わせ先】キリスト教文化センター

【TEL】0774-65-7370

京田辺校地 クリスマスイルミネーション点灯式

【日 時】12月1日(水)16:45 ~

【場 所】ラーネッド記念図書館前

今出川校地のクリスマスツリーは11月24日から、両校地とも12月25日まで点灯しています。

同志社クリスマスキャンドルライトサービス

【出 演】同志社女子中高、同志社高校、同志社中学校、同志社国際中高、同志社香里中高、同志社学生聖歌隊、同志社女子大学聖歌隊

【入場料】無料

【日 時】12月22日(水) 18:00 ~ (17:30開場)

【場 所】同志社栄光館(今出川校地女子大学・女子中高内)

【お問い合わせ先】同志社女子大学宗教部

【TEL】075-251-4141

~ 卒業生の 新刊 図書 ~

『近代日本画、産声のとき』

岡倉天心と横山大観、

菱田春草 』

児島 孝さん

(1958年経済学部卒業)

思文閣出版 3200円(税別)

時代小説傑作選

『大江戸猫三昧』

澤田 瞳子さん 編

(2003年文学研究科修了)

徳間文庫 571円(税別)

140号のお詫びと訂正

ワンバース140号の記載に誤りがありました。

P21 新任教員紹介

【誤】越前敏也 【正】越前俊也

P22 本学教員の新刊

【誤】ITと企業政策 太田 進 著 晃洋書房 2900円

【正】ITと企業政策 太田進一編著 晃洋書房 2900円

P22 卒業式・学位授与式・入学式について

3月22日(火)13時 工学部・工学研究科

場所【誤】栄光館 【正】京田辺校地 デヴィス記念館

3月19日(土)11時 留学生別科

場所【誤】京田辺校地 デヴィス記念館 【正】神学館礼拝堂

以上、お詫びして訂正いたします。

ANNOUNCEMENT

お知らせ

災害被災者への奨学金等について

新潟県中越地震、台風23号等の被災地の皆様、被災地出身の学生の皆様、ご家族の皆様には心からお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。本学では、被災地出身学生に対して、被災状況により、以下の奨学金等について受付けています。詳細については両校地の学生支援課奨学係までご相談ください。

- ・同志社大学貸与奨学金(緊急)
- ・同志社大学短期貸付金
- ・2005年度春学期学費のうち授業料の半額を免除
- ・日本学生支援機構の緊急・応急貸与奨学金

【お問い合わせ先】学生支援課奨学係

今出川校地 TEL:075-251-3280 E-mail: ji-kosei@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地 TEL:0774-65-7430 E-mail: jt-kosei@mail.doshisha.ac.jp

* なお、受験生(学部・大学院)に対しては、申し出により入学検定料、登録料(入学相当額)および授業料に対する特別措置を講じることになりました。詳しくは、入試センター入試課までご連絡、ご相談ください。

【お問い合わせ先】入試センター入試課

TEL:075-251-3210 E-mail: ji-nyusi@mail.doshisha.ac.jp

課外スキー講習参加者募集

本年度も恒例のスキー講習を長野県野沢温泉スキー場で実施します。講習は参加者の技術レベルに応じた少人数の班編成で行います。募集対象者は、学部生から大学院生までのすべての同志社大学生です。

スキーを始めたい人、もっとうまくになりたい人は、是非参加してください。

【日程】2005年3月7日(月)~10日(木) 3泊4日

【スキー場】長野県野沢温泉スキー場(現地集合・解散)

【参加費】38,300円(交通費・用具レンタル料を除く)

その他に、リフトカード保証金1,000円(講習会終了後返却)が必要

【募集期間】12月18日(土)まで

【申込場所】今出川校地 教務課(弘風館)

京田辺校地 体育係(磐上館)

【お問い合わせ先】京田辺校地 体育係(磐上館)

【TEL】0774-65-7510

参加申込者が一定の基準を下回る場合、中止することがあります。

第100回同志社グリークラブ定期演奏会

【日時】12月12日(日)16:00開場 17:00開演

【場所】京都コンサートホール大ホール

地下鉄烏丸線 北山駅下車、1番出口から南へ徒歩2分

【料金】S席 2,000円 A席 1,000円

【お問い合わせ先】林 武史

【TEL】090-4786-2539

第40回全同志社メサイア演奏会

【日時】12月24日(金)18:00~

【場所】京都コンサートホール大ホール

【出演】オーケストラ:同志社交響楽団

合唱:同志社グリークラブ、メサイアコア、メサイアシンガーズ

【指揮】佐藤功太郎

【ソリスト】ソプラノ:松下悦子 アルト:栗林朋子 テノール:小費岩夫

バス:井原秀人 チェンバロ:井幡万友美 オルガン:高橋聖子

【料金】S席:2,000円 A席:1,000円

【お問い合わせ先】全同志社メサイア実行委員会

【TEL】090-7771-0250(銭広承平)



What's on Thursdays!

【場所】今出川校地寒梅館ハーディーホール

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課

【TEL】075-251-3270

Cinema

「ホテルビナス」監督:タカハタ秀太 出演:草瀨剛 中谷美紀

【日時】12月2日(木)16:45~、19:00~

「天国の本屋~恋火」監督:篠原哲雄 出演:竹内結子 玉山鉄二

【日時】12月9日(木)16:45~、19:00~

【料金】金12日、9日とも本学学生・教職員:無料 一般:1,000円 他大学生:500円

Live

「ゴスペル&ジャズ クリスマス フロムN.Y.」

KANKAWAオールスターズ フィーチャリング:Ms.シェアリー・クック

ジャズのメッカ・ニューヨークハーレムで、日本人で初めてレギュラー・オルガン・

プレイヤーを務めたトップオルガニストKANKAWAが、日本ジャズ界屈指のギタ

リスト竹田一彦とボイス・ドラマーのグレッグ・バンディーを迎え、本場のゴスペル

からスタンダードジャズ、クリスマスソングなどをお届けします。

【日時】12月16日(木) 18:30開演

【料金】金12,000円(税込・全席指定)

【チケット販売所】京都新聞販売所、京都新聞文化センター、チケットぴあ

チケットに関するお問い合わせはエースプロモート(TEL:06-6341-1171)まで。

チケット売切れの場合は、ご容赦ください。

2004年度秋学期「^{ふらっと}プログラム」

映画上映

【場所】京田辺校地 多目的ホール

「下妻物語」監督:中島哲也

【日時】12月1日(水)12:30~、15:30~

「きょうのできごと」監督:行定勲

【日時】12月8日(水)12:30~、15:30~

「69 sixty nine」監督:李相日

【日時】12月22日(水)12:30~、15:30~

クリスマス・ラウンジコンサート

【日時】12月13日(月)~17日(金) 12:30~

【場所】京田辺校地 多目的ホールラウンジ

出演団体募集!

アッセンブリーアワー

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課

【TEL】075-251-3270

いずれも詳細は掲示や本学ホームページなどで、お知らせいたします。

Lecture

唯川恵さん講演会

【日時】12月2日(木)13:30~15:00(13:00開場)

【場所】今出川校地神学館礼拝堂

【料金】無料

My P URPOSE

挑戦する人



日本フェンシング界最年少で アテネオリンピック出場！

〜世界の頂点をめざして〜

会場にアナウンスされる「OTA」という名前。いつもと違う雰囲気と声援。緊張して硬くなる身体。緊張しながらも抑えきれないワクワクする気持ち。これが、オリンピックか…。

独特の空気が流れる4年に1度の舞台に、私は立っていました。目の前には、メキシコのチュマセロ選手。外国人選手は日本人選手と違ってあまり型にこだわ

らず、スピードも速い。そんな相手との駆け引きのなかで、瞬時に動きを読み取って剣を突く。序盤にリードを許したものの、相手の懐へ踏み込み攻撃がさえて15-9でオリンピック初勝利を手にしました。

でも田星はこのひとつだけでした。ベスト8進出をかけた3回戦で、オリンピック直前の合宿で一緒に練習した同じ18歳のロシアのガネーフ選手に8-15で完敗しました。最終順位は9位。世界の壁の高さを再認識するとともに、体力・技術・精神のすべての面において力不足を痛感しましたが、昨年の状態から考えるとそう悪くない成績だとも感じていました。

昨年、私は靭帯を損傷。半年ほど大会に出られず、オリンピックは無理だと悲観する日々が続きました。でも決してフェンシングをやめたいとは思いませんでした。これまでもそうでした。高校1年生の時に太ももの裏の座骨を別離骨折した時も。完治後、相手との距離感がつかめず勝てない日々が続いた時も。小学3年生の時に、平安高校フェンシング部出身の父に手ほどきを受けて以来、毎日練習を重ねてきました。父に

『継続は力』と繰り返し言われましたが、私にとって、フェンシングをすることはごはんを食べることと同じくらい自然な行為です。何よりフェンシングが楽しい。スランプに陥った時でも、同志社大学の卒業生である飯村さんをはじめとした多くの人に支られてここまでできました。太田「フェンシングなんだと、フェンシングに対する強い思いに改めて気づき、上半身を使った練習に励みました。そしてケガを克服。各大会で成績を残し、オリンピックへの切符をつかみました。

しかし、私はいま、世界の頂点に立っているわけではありません。史上最年少で全日本選手権を制したことは大きな自信になりましたが、世界の頂きに立つにはまだまだ超えなければならぬ海外の選手がいます。高校生の時よりも自分で考えなければならぬ比重が増した大学で、成長できるかどうかは自分次第だと思っています。世界を視野に練習に励んで、4年後の北京オリンピックで金メダルを獲得することが今の目標です。

Profile



太田 雄貴さん

【商学部商学科1年次生】